

登録コード	F3D53930	開講年度	2026				
授業科目	科学英語演習〔A〕				担当教員	保地 眞一 他	
英文授業名	Academic English				副担当	新井 亮一・矢澤 健二郎	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限	対象学生	応用生物科学科3年
講義室	繊維27番講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	24Fカリ・応用生物, 23Fカリ・応用生物, 22Fカリ						
	生物の詳細な構造・構成成分・機能についての基礎学力				⇔	科学論文を読んで理解できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	科学論文を教材にし、学生に和訳や英作文、単語調べ、英文法等（教員によってその比重は異なる）にふれてもらい、総合的な英語力、特に科学英語論文読解力が身につく授業を行う。 科学英語論文を単に日本語の単語に置き換える単純作業ではなく、内容を論理的に理解した上で和訳する力を付けさせる。 令和3年度は、基本的には対面講義を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響次第では、Zoomによるライブ講義やeALPSに掲載する資料・動画により受講する非同期型の講義など、オンライン形式で実施する可能性もある。						
(5)授業計画	90分授業として実施。 保地担当分 1～4回目 講義（演習）「科学論文の基本骨格」「秀逸なポスター作成法」などを記載した英文を読み、実際の科学論文1編（Nature誌より）を通読する、5回目 1～4回目のまとめと小テスト（1～4回の内容） 新井担当分 6～10回目 講義(演習) 6回目：新井担当分のガイダンスと科学英語を理解するための基礎（予定） 7～9回目：科学英語論文の読解演習と要点の解説（予定） 10回目：6～9回目のまとめと小テスト（6～9回の内容） 矢澤担当分 11～15回目 講義(演習) 11回目：矢澤担当分のガイダンスと科学英語を理解するための基礎 12～14回目：科学英語論文の読解演習と要点の解説 15回目：11～14回目のまとめと小テスト（11～14回の内容）、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	○保地担当分：授業中の発表と出席点（40%）及び小テスト（60%）を総合的に評価・判定する。 ○新井担当分：授業中の発表と出席点（40%）及び小テスト（60%）を総合的に評価・判定する（予定）。 ○矢澤担当分：授業中の発表と出席点（40%）及び小テスト（60%）を総合的に評価・判定する。 ◎単位認定を受けるためには担当する3教員の全てで合格する必要がある。3教員の内、1教員で不合格の場合は再テスト、2教員で不合格の場合はその年度は不可となる。						
(7)成績評価の基準	○3教員：各教員で小テスト、まとめのテスト、演習への取り組み状況等で、評価の比重は異なるが、90%以上は秀（S）、80~89%は優（A）、70~79%は良（B）、60~69%は可（C）、59%以下は不可（D/F）。 ◎最終的には3教員分の点数を合算して、100点に換算して、科学英語演習の最終評価とする。						
(8)事前事後学習の内容	この演習は90時間の学修を必要とする内容である。よって、60時間以上の時間外学習が必要となる。 それぞれの教員によって、講義形式が異なるので最初に予習復習の進め方について指示する。 保地担当分：MLで案内した後、eALPS上に資料を置く。辞書も持たずに演習に参加することなどないように注意。 新井担当分：後日、その都度、講義内容に合わせて指示する予定。 矢澤担当分：eALPS上に資料を置く。						
(9)履修上の注意	担当教員は一人当たり、5回の講義（小テスト含む）を行う。その内、2回以上欠席した場合、単位を認定しない。						
(10)質問,相談への対応	内線番号またはメールで対応する。（※は@） 保地：内線番号 5350 メール：shochi※shinshu-u.ac.jp 新井：内線番号 5881 メール：rarai※shinshu-u.ac.jp 矢澤：内線番号 5353 メール：kenjiro_yazawa※shinshu-u.ac.jp						
(11)学生へのメッセージ	英語読解力は最先端科学に触れる上で必要不可欠なツールで、避けては通れません。また、会社に入社した先輩の多くが中国や東南アジア、その他の外国に営業や研究・開発の成果を発表するために赴任したり、出張しています。						

(11)学生へのメッセージ	英語学習はやったらやっただけ慣れることができ、上達が見込めます。「TOEIC」の学習も普段からやっておくことが重要ですが、科学英語によく使う単語や言い回し、専門用語、表記法があります。この機会に英語論文を読んだり書いたりする基礎を身につけましょう。
(12)その他	
【教科書】	特に指定しない。プリント等を配布する。
【参考書】	特に指定しない。